

## 【命を守る社会】 強靱で包摂的な保健・医療システムの強化：

強靱なUHCの達成のための保健医療体制の強化の推進  
 (「JICA世界保健医療イニシアティブ」のアフリカ地域の展開)

### 現状と課題

- 感染症による死亡者数、5歳未満児の高い死亡率と発育阻害、医療費負担による貧困化、非感染性疾患の増加等に見られるように、アフリカにおける健康問題は非常に深刻となっている。
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行により、保健システムの強化、危機への備えの重要性がこれまで以上に高まっている。また、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を推進する上で、水衛生や栄養の改善、住民の保健知識の向上といった予防・健康増進の観点も重要となっている。

### 今後の取り組み方針

1. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を含む健康危機への対応：
  - ・【治療(診断・治療体制の強化)】ハード・ソフトの両面で医療提供システムを強化する。(研修や相互技術交換等を通じた地域間の連携強化、民間連携・DX活用を含む)
  - ・【警戒(研究・早期警戒体制の強化)】健康危機への対応能力強化を更に促進する。(本邦研修・第三国研修等による域内協力、アフリカ疾病対策センター等国际機関・民間連携含)
  - ・【予防(ワクチン普及展開)】感染症の脅威に強靱な社会の構築に貢献するため、COVAX等の動きを考慮しつつ新型コロナウイルス感染症ワクチンの普及を推進する。
2. 保健医療システム強化：
  - ・ウィズ/ポストコロナ時代において、保健医療システムの強化を通じて「誰一人取り残さない」UHCを改めて強調する。
  - ・これまでの協力の成果を活かして、アフリカ域内で学びあう広域協力を展開する。
  - ・医療制度の構築、保健医療サービスの質・量を向上する。(様々な関係者との相互補完・相乗効果)
3. 予防の強化(栄養、水・衛生、環境管理、都市等)：
  - ・【栄養】TICAD7「食と栄養のアフリカ・イニシアチブ(IFNA)横浜宣言2019」の実現に向け、各国における主体的かつ持続的な取組を支援する。
  - ・【水・衛生】水道事業者の成長支援等を通じた給水人口の増加と人材育成を推進。安全な水へのアクセス向上に資する広域連携、手洗い等の衛生活動を推進する。
  - ・【環境管理】ACCPを通じた知見共有や開発パートナーとの連携等により、更なるスケールアップを推進、廃棄物及び水質汚濁管理に係る支援を行う。
  - ・【都市】「COVID-19等感染症に対する都市環境プログラム」による調査・検討結果を踏まえた、感染症に強い都市づくりに関する支援を行う。



### 貢献する SDGs



これまでのJICAの取り組み



**UHC:** UHCをジャパンブランドとして発信。セネガル「コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化プロジェクト」。



**感染症:** 人材育成・ネットワーク強化を通じた検査機能の強化。野口記念医学研究所への協力(ガーナ)。



**栄養:** 食と栄養のアフリカイニシアティブ(IFNA)で策定した国別戦略の実施促進。広域「IFNAにおけるICSA展開促進及び研修事業促進基礎情報収集・確認調査」より



**水・衛生:** 1,000万人に対する安全な水へのアクセス及び衛生改善の取組。



**環境管理:** アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)スタディーツアー(2018年、エチオピア)



**都市:** COVID-19等感染症に対する都市環境プログラム形成調査の立ち上げ。